



おもちつき♪ たのしいよ♪

海南保育所…もちつき(令和6年12月18日)



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp

Vol. **75** (2025.2)

海陽町議会ホームページ
QRコード

QRコードにアクセスすると
海陽町議会HPが閲覧できます



おもな内容

委員長報告	2・4P
議会のうごき	6・7P
町長行政報告	11P
一般質問	12~15P

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。
委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 富田 寛

12月9日開会。当委員会が所管する提出議案について、説明を受けた。

条例関係

○ 未来まちづくり基金条例

令和7年度に合併特例債の発行が終了となる。それ以後のまちづくりの財源として、基金を創設する。

○ 企業版ふるさと納税基金条例

企業からの寄附金を次年度以降の事業にも充てられるよう、基金を創設する。

委員の問 基金はきちんと運用できるのか。

答 確実な方法で運用していく。

委員の意見 企業版ふるさと納税の獲得はかなりの努力が必要なので、頑張つて取り組んでほしい。

契約関係

○ タブレット端末購入契約

議会のペーパーレス化のために導入。

予算関係

○ 令和6年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ11億5337万円を追加し、

総額を98億4829万円とする。

繰越明許費

・ 宍喰地区防災公園整備事業

標準工期を確保するため7200万円の計上。

歳入予算

老朽住宅除去事業補助金は、新たに2件の申込があり60万円の追加。

委員の問 今後の空き家対策は。

答 利用できる空き家の有効活用を促し、老朽住宅は、解体事業の補助金の活用を周知する。将来的には危険な空き家を削減していく。

歳出予算

総務費

・ セミナーハウスの漏水対応修繕工事請負費

〔65万円〕

農業費

・ 県営漁港改修事業負担金

土木費

・ 県道上皆津奥浦線改良事業負担金

〔150万円〕

災害復旧費

・ 測量設計委託料

〔100万円〕

11月の豪雨による災害。

委員の問 災害の場所は。

答 町道川又大比線・町道柱野岡本線・大谷川の3カ所。

・ 地方債繰上償還金

諸支出金

・ 財政調整基金積立金

〔9856万円〕

地方財政法の規定による令和5年度の剰余金を積み立てる。

その他

委員の問

宍喰地区津波避難タワー候補地の選定状況は。

答 今年度中に候補地を決定する。

委員の問

レンタサイクルのサービスが終了したが、対策はどうなっているのか。

答 観光協会と有人施設での設置を検討している。

委員の意見 国道の雑草や、中央線が消えている箇所は、夜間走行に危険

であるが、対応はできないか。

答 国など関係機関に要望していく。



町道柱野岡本線の災害

その他主な事業は、左のページに特集しています。

まちづくりに活用する ため基金を創設します！ 海陽町未来まちづくり 基金積立金

7億6650万円

令 和7年度に合併に関する国からの財政措置が終了となるに伴い、合併特例債を財源として、新たに「海陽町未来まちづくり基金」を創設します。

この基金は、今後の合併後のまちづくりに要する経費に活用していきます。

迅速な避難行動を 促すために

観光施設津波避難 情報看板設置工事

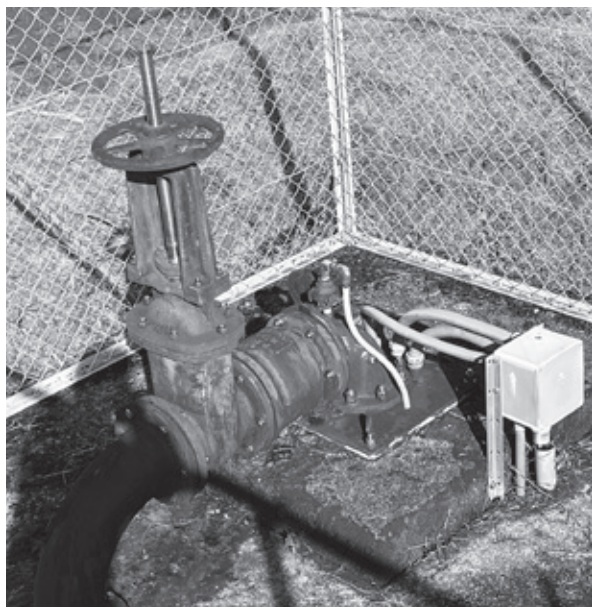
80万円

竹 ケ島、宍喰大手海岸、海部川河口、大砂海水浴場などに設置している津波避難情報看板について、設置から10年以上経過した看板が多く、修繕や情報内容の修正などの張り替え等を行います。

地域農業の保全に

熟田地区 農業揚水ポンプ 改修事業 159万円

老 朽化した熟田農業用ポンプの改修費の一部を補助します。



老朽化した農業用ポンプ

富田地区 農業用水路防護柵 設置事業 54万円

富 田地区にある農業用水路に転落防止柵を設置する費用の一部を補助します。



転落防護柵設置予定の農業用水路

文教厚生常任委員会

委員長 長江 範裕

12月10日開会。当委員会が所管する提出議案について、説明を受けた。

条例関係

○ 区域運行型デマンド交通条例

穴喰地区久尾線をデマンドバスとして、実証運行するため、条例を制定する。

委員の問 利用者の登録制の意義は何か。

答 事前に対象者を把握し、乗車場所を決めておくため。

委員の問 登録していない人や、観光客などの乗車はどうするのか。

答 乗せる方向であることが、原則は登録であることを周知する。

委員の問 委託は、いつ頃になるのか。また、委託先はどのように決めるのか。

答 来年8月末のデマンド実証の終了までに委託に向けて詰めていく。

○ 海陽町営バス運行事業に関する条例の改正

久尾線をデマンド運行に移行することに伴い、久尾線の部分を削除する。

委員の問 町営バスに変わりに削除する必要があるのか。

答 公共交通の性質・性格が変わり、デマンド交通条例で網羅するため削除した。

予算関係

○ 令和6年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ11億5337万円を追加し、総額を98億4829万円とする。

歳入予算

・ 障害者自立支援給付国庫負担金

「1865万円」

負担金 「933万円」

いずれも、制度改正及び給付費の増加のため。

・ 子どもはぐくみ医療費助成事業補助金

「108万円」

子どもあゆみ医療費の増加のため。

歳出予算

総務費

・ 住基システム改修委託料 「207万円」

民生費

・ 障害者自立支援給付審査支払等システム改修委託料 「182万円」

・ 介護給付費 「4130万円」

制度改正及び給付費の増加のため。

・ 二葉保育園運営委託料 「522万円」

チーム保育推進加算によるため。

委員の問 チーム保育推進加算とは、どういう内容なのか。

答 配置基準を超えた保育士を配置し、保育士の平均経験年数が12年以上で、キャリアを積んだ保育経験者をリーダーとする

るチームで保育に当たることにより加算される。

・ 子どもあゆみ医療費助成 「215万円」

子どもあゆみ医療費の増加のため。

教育費

委員の問 子ども居場所事業について、条例や規則は策定するのか。

答 高校生の居場所については、町が開設するため、条例・規則を策定する。

・ 文化村施設清掃委託料 「減額300万円」

委員の問 当初予算から3割ほど減額となっているが、積算はどのようにしているのか。

答 国の積算基準に基づき算出している。

委員の問 県の積算基準を使用すれば、予算額を抑えることができ、不用額が少なくなるのでは。

答 来年度予算については、県の積算基準を確認した上で、請負差額が大きくならないよう対応していく。

委員の意見 高い率で予

算が余るようなことが続いている。ヒアリングの中で、予算が妥当かどうか十分に検討し、計上してもらいたい。

○ 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算

・ 一般被保険者療養給付費 「1億658万円」

・ 一般被保険者高額療養費 「4778万円」

特定疾病の医療費が増加。



デマンドバスとして使用する町営バス

その他主な事業は、左のページに特集しています。

子どもたちが安心して過ごせる環境整備を 子ども第三の居場所開設事業 **5000**万円 (補助金)

B & G財団助成金を活用し、全ての子どもたちの居場所づくりを進めます。
令和7年3月中に建物の設計を行い、12月の施設開設を目指します。

※建設の設計費、工事費、備品購入費など

認定こども園開設 幼稚園型認定こども園 開設準備費用 (対象幼児：3歳～5歳児) **321**万円

令 和7年4月1日開設の認定こども園の設備を整え、園児たちが快適で使いやすい施設にします。
※案内看板設置、長机や軽量の折りたたみイス、給食用食器や、園歌の制作など

保育所の再編 かいよう保育所 開設準備費用 (対象幼児：0歳～2歳児) **158**万円

海 南・海部西保育所を再編し、令和7年4月1日に開設します。
子どもたちが快適に過ごせるよう、ウォッシュابل畳（昼寝用布団の下に敷く洗える薄めの畳）などを購入します。



開設予定のかいようこども園とかいよう保育所

海部郡・安芸郡議長連合会 道路整備要望

高知県庁にて（令和6年10月9日）



高知県知事への要望



高知県議会議長への要望

祝 総務大臣感謝状



見
吉
政
貴
議員

議員在籍35年以上により、総務大臣から感謝状が贈呈されました。

四国地区町村議会議長会研修会

会場：サンポートホール高松（令和6年10月31日）



議会のうづき

10月1日から
12月31日まで

10月

- 4日 議会広報編集特別委員会
- 9日 海部郡・安芸郡議長連合会要望活動（高知県）
- 16日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟 四国地方整備局要望（香川県）
- 16日 議会広報編集特別委員会
- 18日 議会運営委員会・議会全員協議会
- 25日 第3回臨時会
- 31日 四国地区町村議会議長会研修会（香川県）

11月

- 12日 海部郡・安芸郡議長連合会中央要望（東京都）
- 13日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 14日 令和6年度議長研修（東京都）
- 25日 海部郡衛生処理事務組合議会 第1回臨時会（美波町）
- 27日 南阿波定住自立圏共生ビジョン懇談会（阿南市）
- 28日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟 中央要望（東京都）

12月

- 2日 議会運営委員会・議会全員協議会
- 9日 第4回定例会（1日目）
- 9日 総務産業建設常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 12日 第4回定例会（2日目）
- 12日 議会広報編集特別委員会
- 16日 海陽町文化・体育表彰式
- 21日 海部郡交通安全大会（牟岐町）
- 21日 徳島駅伝海部郡選手団結団式（美波町）
- 27日 議会全員協議会・議会運営委員会

海部郡・安芸郡議長連合会 中央要望

(令和6年11月12日)



徳島県選出衆議院議員等への要望

四国8の字ネットワーク中央要望

(令和6年11月28日)



財務省 齋藤副大臣等への要望

町村議会議長全国大会

会場：NHKホール（令和6年11月13日）



令和6年度議長研修

会場：ホテルルポール麹町（令和6年11月14日）



議案審議

令和6年度

一般会計補正予算

Q1 子ども第三の居場所

開設事業補助金

〔5000万円〕



富田議員

開設時期はいつからか。また、今後、人件費などの負担が発生するのか。

池田地域つながり課長

施設の開設時期は、令和7年12月を予定している。また、人件費等の負担については、開設後3年間、B & G財団から月80万円の運営助成がある。可能な限り町負担のないよう進めていく。

Q2 企画展運営業務委託料

〔減額310万円〕



戸田議員

博物館予算の減額内容は。

池田地域つながり課長

海部野根道路計画事業地内で発見された多良の古墳の試掘調査に関する特報展や報告会などを行ったため、今年度予定していた企画展の実施計画の見直しを行ったことによる。

Q3 穴喰地区防災公園整備工事

請負費

〔751万円〕



小山議員

現在までの進捗状況は。

黒木建設防災課長

本体の造成工事に入って3年目である。進捗率は、全体事業費の率でいうと、約8%である。

Q4 未来まちづくり

基金積立金

〔7億6650万円〕



長岡議員

来年もこの基金を積み立てるということだが、償還期限と償還額はどの程度になるのか。

また、合併特例債の上限額が示されたと思うが、現在のあと1年残した時点で、起債金額は。

浦川総務課長

金融機関との協議となるが、10年償還で、元金の償還金は1年当たり1億4500万円を予定している。

また、合併特例債の発行上限額は、基金を除く額で、63億8250万円。令和7年度までの発行見込み額は、率としては50・4%で約半分ぐらいを起債する見込み。

Q5. 子どもあゆみ 体操服購入 助成金

〔19万円〕



佐川議員

来年度に入
学する生徒数
とその内訳は。

森崎教育次長

小学校が34人、中学校が50
人。

内訳は、海南小学校が22人、
海部小学校が5人、穴喰小学
校が7人、海陽中学校が34人、
穴喰中学校が16人である。

区域運行型 デマンド交通条例

Q6. デマンド交通に ついて



高島議員

事前の利用
者登録や事前
予約をするの
か。また、当日、未登録の人
や観光客などの対応は。

中内住民環境課長

事前の利用者登録や事前
予約をしてもらう。予約の
受付は、当面は役場の方で
行いながら、委託先を検討
していきたい。また、誰で
も乗ることができるが、原
則、きちんと登録も予約も
していただく。

タブレット端末購入契約について

Q7. 入札の件について



見吉議員

今回の入札の業者数と入札の基準は。また、
落札業者は、どういう会社なのか。

奥原行革政策課長

指名競争入札業者は9社で、そのうち6社が辞退、3社
が応札。入札の基準としては、タブレット機器やOA機器
などを扱える業者である。落札会社については、町のネッ
トワークの保守業務やパソコンの購入実績がある。

Q8. タブレット端末について



長江議員

不具合が出た場合、交換してもらえるのか。
また、保証期間は。

奥原行革政策課長

不具合等が出た場合は、契約約款の中に交換や修繕の条文
等がある。保証期間については、通常1年ぐらいである。

第4回定例会

議案の審議

令和6年第4回定例会は、12月9日開会。町長より10件の議案・報告が提出され、審議の結果、原案どおり可決し、12月13日閉会した。

条例関係

- ・未来まちづくり基金条例
- ・企業版ふるさと納税基金条例
- ・区域運行型デマンド交通条例
- ・海陽町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例

契約関係

- ・タブレット端末購入契約について
- 契約方法 指名競争入札 契約金額 845万円
- 契約相手 スタンスシステム株式会社
- 納期 議決日の翌日（令和7年2月28日）

予算関係

- ・一般会計補正予算(第7号) 11億5337万円↑
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 1億5635万円↑
- ・水道事業会計補正予算(第2号) 118万円↑
- ・下水道事業会計補正予算(第2号) 64万円↑

報告関係

- ・専決処分等の報告について
- ・和解及び損害賠償の額を定めることについて

第3回臨時会

議案の審議

第3回臨時会は、10月25日開会。次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決・承認し、同日閉会した。

承認関係

- ・専決処分等の承認(予算)
- ・一般会計補正予算(第5号)

注釈
↑ 増額
↓ 減額

2369万円↑

契約関係

- ・財産の取得について(追認)
- 契約目的 平成27年度改訂小学校教師用教科書及び指導書購入
- 契約方法 随意契約
- 契約相手 川原書店
- 契約金額 706万円
- ・財産の取得について(追認)
- 契約目的 平成28年度改訂中学校教師用教科書及び指導書購入
- 契約方法 随意契約
- 契約相手 川原書店
- 契約金額 712万円
- ・財産の取得について(追認)
- 契約目的 令和2年度改訂小学校教師用教科書及び指導書購入
- 契約方法 随意契約
- 契約相手 川原書店
- 契約金額 928万円
- ・財産の取得について(追認)
- 契約目的 令和6年度改訂小学校教師用教科書及び指導書購入
- 契約方法 随意契約
- 契約相手 有限会社米田書店
- 契約金額 1189万円
- ・財産の取得について(追認)
- 契約目的 令和4年度海部郡地域インターネットネットワーク機器購入
- 契約方法 随意契約
- 契約相手 西日本電信電話株式会社徳島支店
- 契約金額 825万円

予算関係

- ・一般会計補正予算(第6号)

報告関係

- ・専決処分等の報告について
- ・和解及び損害賠償の額を定めることについて

注釈
↑ 増額
↓ 減額

730万円↑

12月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町税	0	5億8,416万7千円	5.9
地方譲与税	0	1億6,040万円	1.6
利子割交付金	0	30万円	0.0
配当割交付金	0	510万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	590万円	0.1
法人事業税交付金	0	1,320万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億5,640万円	1.6
環境性能割交付金	0	520万円	0.1
地方特例交付金	0	5,160万円	0.5
地方交付税	4,370万4千円	38億7,609万5千円	39.4
交通安全対策特別交付金	0	40万円	0.0
分担金・負担金	82万8千円	2,444万7千円	0.3
使用料・手数料	0	8,048万9千円	0.8
国庫支出金	2,172万9千円	5億6,269万2千円	5.7
県支出金	1,079万4千円	5億2,299万2千円	5.3
財産収入	0	4,504万4千円	0.5
寄附金	0	8,100万円	0.8
繰入金	126万1千円	11億1,504万3千円	11.3
繰越金	2億8,752万1千円	4億8,154万8千円	4.9
諸収入	5,043万3千円	1億3,271万4千円	1.3
町債	7億3,710万円	19億4,355万9千円	19.7
合 計	11億5,337万円	98億4,829万円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7,056万3千円	0.7
総務費	472万1千円	11億5,416万9千円	11.7
民生費	5,961万3千円	20億2,108万3千円	20.5
衛生費	1,033万6千円	8億1,624万3千円	8.3
農林水産業費	1,465万4千円	5億4,575万4千円	5.5
商工費	260万6千円	4億262万5千円	4.1
土木費	488万7千円	9億2,041万3千円	9.4
消防費	10万円	11億3,504万7千円	11.5
教育費	4,817万7千円	9億7,785万1千円	9.9
災害復旧費	100万円	2,495万円	0.3
公債費	1億4,221万7千円	8億6,196万1千円	8.8
諸支出金	8億6,505万9千円	9億760万9千円	9.2
予備費	0	1,002万2千円	0.1
合 計	11億5,337万円	98億4,829万円	100.0

「明るい未来に向かって」

町長 三浦 茂貴

住み良いまちの実現

職員力の向上によって少数で効率的に住民サービスの質の向上を目指すねらいで、職員研修を実施している。

徳島・高知両県で例年どおり、**海部野根道路**の早期事業化の要望を複数回行った。海部地区では、12月5日に用地説明会を実施し、宍喰地区でも用地契約が順調に進んでいる。

宍喰西北地区津波避難タワー建設に県から補助制度が創設された。住民の要望を聞いた上で、候補地の決定と用地交渉、地質調査に進めていく。

2月より、町営バス久

尾線をデマンド交通にするため実証運行を行う。田舎でも自由に移動ができるような海陽版マルチモーダルMaaSの構築に向けて、国の補助も獲得しつつ取り組んでいきたい。

※マルチモーダルMaaSとは、多様な公共交通へ転換させること。

国保加入者特定健診受診率は6年連続県下1位となった。

サル被害対策研修会を文化村で実施し、座学および実技研修に53人の参加があった。今後も打開策を見いだし、町を挙げて取り組んでいく。

にぎわうまちの実現

企業版ふるさと納税は、原則、当該年度の事業に充当することになっている。そこで、**海陽町企業版ふるさと納税基金**を設置して、翌年も柔軟かつ最大限に活用できるようにする。

消防団の協力を得て、**空き家実態調査**を実施した。町内での空き家件数は、1063件あると判明した。今後は、老朽にに応じて、利活用空き家、管理空き家、老朽危険空き家などに区別して所有者とも連絡を取りながら、状況に応じての対策を講じていきたい。

海南病院まつりの前日の午前中に、医大生が6地区の地域サロンに出向き、また午後は約150人の参加者とディスカッションをした。当日の病院まつりには、約1000人の方が来場され、海南病院を中心に

地域まるごと笑顔になった病院まつりであった。

はぐくむまちの実現

半学半地域型地域おこし協力隊に、慶應義塾大学メディアデザイン学科の学生2人を委嘱した。主に学校におけるICT教育の推進と、図書館の活性化を行っていく予定である。

旧海部中学校の校舎を活用して、英語でのハロウィンイベントを行った。約220人の親子連れが参加をし、大盛況であった。

また、まぜのおかで**海陽グローバルウィーク**イベントを開催し、小・中・高校生合わせて41人の参加があった。

※海陽グローバルウィークエンドとは、外国語指導助手（ALT）を招き、異文化交流を通して英語を学ぶこと。

町内3小学校でサンゴの生態や竹ヶ島海域公園における保全活動について環境学習を行った。多様な役割を持つ海の大切さや後世につないでいく必要性を学んだ。今後は、**サンゴの移植**をふるさと納税の返礼品として商品化し、保全活動が継続できるように取り組む。

合併からやがて丸19年になる。町として成熟するためには、まだまだ取り組まなければならない問題が山積している。今後でもできない部分は力を借り、タイミングをしっかりと見極めながら前を向いて進んでいきたい。



海南病院まつりで挨拶をする三浦町長
(令和6年11月17日)

住宅耐震改修の補助金を引き上げられないか



長江 範裕 議員

〈建設防災課長〉 来年度予算に向けて検討する

問 今年度は能登半島地震や南海トラフ臨時情報が発令されたりと町民の防災意識も高まっている。能登半島地震で住宅被害が広がったのは、高齢者が多く、住宅の耐震化が伸び悩んでいたのが一因とされている。住宅の耐震化は、基礎や壁の補強、屋根の軽量化などで震度6強から7程度でも倒壊しないよう改修するものである。本町でも補助はあるが、最近の物価高の影響や自己負担が生じるという理由で二の足を踏んでいる方が多い。本町の現在の耐震化率と年間の耐震改修の件数はどれくらいあるのか。

答 黒木建設防災課長
耐震化率は平成20年時点で43・9%、現時点で申請数は383件、耐震

化工事は毎年約5件申請されている。耐震改修補助金の引き上げについては、来年度予算計上に向けて検討する。また、高齢者が利用しやすい制度づくりに努め、啓発活動に取り組んでいく。

問 備蓄について、自治体が購入した備蓄品を各自治体の備蓄倉庫に保管することなく、民間の物流センターなどに委託する。民間事業者はそれを流通させながら、自治体の必要数を常に維持するランニングストック方式という方法で備蓄をしている自治体があるが、このような備蓄を今後考えていく必要があるのでは。

答 黒木建設防災課長
備蓄のランニングストック方式は、消費期限による廃棄の発生を抑えられる。備蓄品を常に流通させた状態で保管管理するため、限られたスペースの中で管理ができる有効な手段である。現

在町内1社と提携しているが、今後も、他の町内企業とも相談しながら検討していきたい。

答 三浦町長
備蓄品には、災害が起こらないと使用しないものも多くある。日常使いをしながら、非常時に活用できるフェーズフリーの観点も防災対策に加え、より強固となるよう取り組んでいきたい。

火災警報器の設置費補助は

〈建設防災課長〉

町で支援している事業の中で対応するなど、検討する

○警報器の設置場所



○住宅用火災警報器
(感知・警報部が一体の機器)



火災警報器と設置場所 (イメージ図)

問 住宅用火災警報器の設置が全住宅に義務づけられているが、設置率が低い状況である。住宅火災での死者の6割が高齢者であり、死亡原因は逃げ遅れが多い。本町では、設置条例を定めているのか。また、設置に関して補助はできないか。

合火災予防条例で設置及び基準について定められている。
火災警報器は、1個当たりの値段が比較的安価であるため、町で支援している事業の中で対応するなど、他の方法も含め検討する。

答 黒木建設防災課長
火災警報器設置基準は消防法で定められており、本町では海部消防組

子宮頸がんワクチン接種の必要性を



佐川 富美 議員

〈子どもあゆみ保健課長〉

広報紙等で接種の必要性を周知していく

問 子宮頸がんワクチンは、積極的な勧奨が差し控えられている状態が終了した。平成9年から平成19年生まれの女性は、現在、キャッチアップ接種として公費で接種を受けることができる。

子宮頸がんワクチンの定期接種は小学校6年から高校1年相当の女子が対象である。標準的な接種期間は、中学校1年（13歳になる学年）の女子となっている。海陽町では接種対象者への周知はどのように行っているのか。また接種率は。

答 大崎子どもあゆみ保健課長

周知については、広報紙などで行うとともに、キャッチアップ接種の対象者に毎年、個別通知も行っている。また接種状

況は、令和4年度は、対象者310人に対して接種者12人で、率は3.9%。令和5年度は、対象者303人に対して接種者は37人で、12.3%である。

問 子宮頸がんワクチンは、女性が打つものだという認識が強い。しかし、男性にもワクチン（HPV）接種が推奨されている。両者がワクチン接種をすることにより、男女ともにさまざまな疾病の予防にもつながる。

現在、日本では男性の子宮頸がんワクチン接種は、全額自費である。3回接種すると約5万円かかる。そのため、男性のワクチン接種率はまだまだ低い。女性だけでなく男性にも子宮頸がんワクチンの接種の必要性を広報し、金額も高額なので、助成はできないか。

答 大崎子どもあゆみ保健課長

男性への公費での定期

接種化については、現在、国の審議会において、安全性や費用対効果等について審議が行われている。今後、国の動向を注視し、助成の必要性を検討していく。

また、男性へのHPVワクチン接種については、広報紙等で周知を行い、認知度の向上を図っていきたい。

第2の命の道の整備を

〈建設防災課長〉

津波迂回ルートとして、
現在も継続して
進めている

問 今年、国道55号が通行止めになるという事故があった。牟岐町はサンラインという迂回路があるが、海陽町には迂回路がない。またその道は、高潮・高波により通行止めになる恐れがある。

現在、海部・野根道路が計画されているが、いつ完成するのか分からない。以前、自衛隊が櫛川から穴喰に抜ける道を整備していたが、現在はどうなっているのか。可能ならば、その道を整備し、第2の命の道にできないものか。

答 黒木建設防災課長

南海トラフ巨大地震の津波により、国道55号が寸断され、穴喰地区が孤立する恐れがある。県に要望し、海部から穴喰地区を経由する津波迂回ルートとして、平成24年度から事業着手している。事業箇所は、一般県道芥附海部線で、櫛川から北河内間の改良工事を現在も継続して進めている。



一般県道芥附海部線改良工事現場

0～2歳児の保育料無償化を 実施できないか



富田 寛 議員

〈子どもあゆみ保健課長〉

県の制度に合わせ、無償化を実施していきたい

問 保育料無償化について、先の9月議会で質問をした。担当課長は、海陽町課税世帯の0～2歳児は令和6年度では68人おり、年間保育料の合計は約1200万円の一般財源が必要であり、実施は難しいとの答弁であった。県議会では知事は、第一子から保育料無償化に向けて、県独自の支援策を検討する考えを表明した。県内では、鳴門市、阿南市など6市町村で第一子以降、石井町など3町で第二子以降が無償化になっている。国の制度の範囲を超える無償化については、県と市町村が2分の1ずつ費用を負担することになっている。県との協議の時には、子どもあゆみ基金を利用して、無償化を実施できないのか。



突喰保育所全景

答 大崎子どもあゆみ保健課長
県から保育料無償化支援の拡充について意向の照会が来ており、本町としては、開始時期等、県

の制度に合わせ、無償化を実施していきたい。所得制限については、本町は所得制限を設けず実施していきたい。

物品の指名競争入札の 審査について

〈奥原行革政策課長〉

地域要件を優先し、納入実績などを参考に
建設工事等審査会で決定している

問 物品の入札参加者資格審査申請書はどうなっているのか。
答 奥原行革政策課長
参加するすべての業者と同様に、取り扱える物品の販売役務の提供を業者シートにより提出してもらっている。

問 今回の物品の入札について、審査会を開催したのか。

答 奥原行革政策課長
建設工事等審査委員会と協議の上、決定している。

問 指名競争入札の参加基準は。

答 奥原行革政策課長
選定基準については、業者数を決定の上、地域の経済の活性化や業者育成、振興の観点、また、地域要件を優先して協議の上、指名している。

問 物品入札にも最低制限価格設定ができないか。

答 奥原行革政策課長
物品などの調達に関しては、仕様書などの物品を納入すれば何ら問題がないため、最低制限価格を設定せず、調達の原則である良いものをより安く意識して、取り組んでいく。



原 ひろみ 議員

投票しやすい環境を

〈住民環境課長〉

投票を支援・強化するためにも、
取り組みを進めていく

問 先の衆議院選挙では、約4割近くの人が投票できていない。高齢者も増加し、身体障がい者などにより投票所に行けない人も増えている。誰もが投票しやすい環境



コミュニケーションボード

答 中内住民環境課長
投票支援カードやコミュニケーションボードについて、次の参議院選挙から導入する方向で進めていく。

整備のため、「投票支援カード」を事前に広報したりできないのか。また、投票所でのイラストや文字の指さしで利用できる「コミュニケーションボード」を導入してはどうか。

問 進学や単身赴任で他町にいるが、住民票は当町にある場合、不在者投票ができる。その手続きは郵送請求の封筒、切手がかかる。マイナンバーカードを活用してオンライン申請はできないのか。町のホームページや広報

問 視覚障がいがあったりも自分で記入したい人に対し、投票用紙記入補助具の導入をしてはどうか。

答 中内住民環境課長

投票用紙記入補助具についても、取り組みを進めていく。

答 中内住民環境課長

オンライン申請についても、導入に向けて取り組みを進めていく。また、環境整備関連の導入をする際は、適宜、町のホームページ等で周知に努める。

でPRし、多くの人が利用できるようにしてはどうか。

金融教育の大切さを 幼児期から導入を

〈教育次長〉子どもたちに金融に関する知識などを身に付けるよう支援していく

答 森崎教育次長
小学校では家庭科、中

問 人生100年時代になり、経済的備えは欠かせない。若いうちからライフプランに合わせた資産形成を考える必要性がある。成人年齢が18歳になったことにより、金融契約に伴うトラブルも多発している。キャッシュレス化に伴い、金銭管理をどうするのが再考する必要がある。

将来設計を自分で立てることに、経済的に立派な生活もできる。また、学校でも金融教育が開始された。幼児期から金融教育を受けることによってお金の使い方、貯金や予算を立てることの重要性を理解し、リスク管理を学べる。現在、当町での学校現場では、金融教育を誰が何の科目で教えているのか。指導体制は十分なのか。問題点や課題はないのか。専門知識を有する人をアドバイザーとしてはどうか。

学校では家庭科や社会科学の授業で金融に関する教育を行っている。

しかし、金融教育は専門的な知識も必要なことから、教員だけでなく専門家などの知見を活用することは効果的であると考えている。今後、民間企業とも連携しながら、子どもたちの金融に関する知識や思考力、判断力を身に付けることができよう支援していく。

問 人生を生き抜くためには、金融教育は絶対に必要である。町民にも金融教育や税のことなど、生活に役立つ講演会をしてほしいとの要望があるが、開催できないのか。

答 森崎教育次長
今後、関係機関と連携を取りながら、町民のニーズに応じた金融経済教育に関する学習機会を検討していく。

まつもと
松本

大里字馬谷

てるこ
照子さん

満96歳
(昭和3.9.14生)



元気の秘訣は？

- 好き嫌いはなく、毎日の食事が好き。
- 日なたぼっこして、ラジオで好きな歌を聴く。

日常生活は？

- テレビを見ながら、好きなコーヒーを飲む。
- 毎月、老人会といきいきサロンに行く。
- 近所の店に買い物に行く。

人生の思い出は？

- 娘と北海道へ、5泊6日の旅行に行ったこと。
- 三男の娘の結婚式に、ハワイへ4泊5日で行ったこと。



自宅玄関前にて
(令和6年12月18日)



○ フウラン

ラン科の着生植物。気根を長く伸ばし樹木や岩の上に着生する。絶滅危惧Ⅱ類。

2025年が開幕しました。
今年は「巳年」で、へびは脱皮しながら成長する再生進化の年といわれています。
今年の20歳を祝う会の対象者は84人でした。また今年で「団塊の世代」のすべてが後期高齢者となりました。少子高齢化が進む一方です。
議会でも町の未来のあり方など、さまざま論じています。
皆さまの元に分かりやすく、誰もが手に取って読んでもらえる議会広報を届けられるよう、委員一同、一層努力してまいります。
皆さまからのお声やご要望をお待ちしています。

(原)

編集後記